

平成28年度 右田小学校の学校経営

◇ 学校教育目標

山口県の教育目標

防府市学校教育の基本姿勢

未来を拓く
たくましい
「やまぐちっ子」
の育成

自分で考え、行動する右田っ子の育成
～感動とつながりのある活動を通して～

～「生きる力」と
「豊かな人間性」
を育む～

【めざす児童像】

【なかよく】にこにこ笑顔

- ・気持ちのよいあいさつと言葉遣いをする子（あいさつの習慣化）
- ・進んで行動し、互いに助け合う子
- ・違いを認め、互いのよさを見つける子

【かしこく】こつこつ学び

- ・学習したことを確実に身に付ける子（学習の習慣化）
- ・自ら考え、判断し、問題を解決する子
- ・自分の考えを自分の言葉で表現できる子

【たくましく】いきいき体

- ・自然に親しみ、戸外で元気に遊ぶ子
- ・運動に親しみ、進んで体を鍛える子（運動の習慣化）
- ・自分の体に関心を持ち、自己管理ができる子

【めざす学校像】

【楽しい学校】

- ・子ども一人ひとりが自分のよさを発揮し、学ぶ喜びのある学校

【やりがいのある学校】

- ・教職員が子どもの成長に喜びを感じることができる学校

【地域と共に歩む学校】

- ・保護者や地域に信頼され、連携や協力のある学校
- 《コミュニティ・スクールの推進》

【めざす教師像】

◇教育への情熱をもち、子ども一人ひとりを大切にする教師

◇自己研鑽に励み、指導力を高めるために工夫努力する教師

◇組織の一員として協働した行動のとれる教師

【本年度重点をおいて取り組む目標】

- ①朝読書と家庭における読書活動を充実し、子どもの読書活動の推進を図る。
- ②学年のつながりがある体育科の授業と業間体育や「親子で運動」等の推進により、子どもの体力向上を図る。
- ③「あいさつ・そうじ・かかと揃え」をチャレンジ目標とし、規範意識の醸成を推進する。
- ④異学年や地域の方々との交流及びあいさつ運動の推進で、望ましい人間関係作りを図る。（縦割り活動・委員会活動の充実）
- ⑤校内研修を活性化し、授業改善を図り児童の読解力を高める。（互見授業で授業力向上）
- ⑥個に応じた指導により、学力向上の取組を充実する。（記録の効果的活用）
- ⑦コミュニティ・スクールを中核とし、保護者・地域との連携による学校づくりを推進する。

考え方に 気をつけて

考え方は 言葉になるから

言葉に 気をつけて

言葉は 行動になるから

行動に 気をつけて

行動は 習慣になるから

習慣に 気をつけて

習慣は 人格になるから

人格に 気をつけて

人格は 運命をつくるから

「より良い習慣作りにチャレンジ！」

「習慣」

木村 和夫

毎日毎日が習慣づくり

勉強をサボるという習慣

本を読まないという習慣

字を乱雑に書くという習慣

小さな声でぼそぼそという習慣

毎日毎日が習慣づくり

挨拶をしないという習慣

他の人の言葉に耳を傾けないという習慣

人の悪いところを見つけようとする習慣

自分のことを優先しようとする習慣

何気ない一回一回のこと

その中で、今のあなたは、作られて来たし、これからも作られていくのです。

勉強を真剣にやるという習慣

本を読むという習慣

字を丁寧に書くという習慣

はっきりとした声でしっかりと言う習慣

挨拶をするという習慣

耳を傾けるという習慣

人の良いところを見つけようとする習慣

他の人のことを優先しようとする習慣

何気ない一日一日の積み重ね

『何気ない一回一回のこと、何気ない一日一日の積み重ね その中で、今のあなたは、作られて来たし、これからも作られていくのです。』

この最後の二行には、「自分は自分で創る。」「自分は、自分の責任者。」という意味があると感じています。難しいことでなくて今の自分にできることを探して、毎日習慣として続けていくと、いつの日か、それが当たり前（普通）になる。そして、その当たり前（普通）が自分を創っていく。より良い習慣作りをめざしていきましょう。

◇ めざす児童像 【真剣に聴く姿；じっくり考える姿；考えたことを実践する姿】

- ◎ なかよく
 - ・気持ちのよいあいさつと言葉遣いをする子（あいさつの習慣化）
 - ・進んで行動し、互いに助け合う子
 - ・違いを認め、互いの良さを見つける子
- ◎ かしこく
 - ・学習したことを確実に身に付ける子（学習の習慣化）
 - ・自ら考え、判断し、問題を解決する子
 - ・自分の考えを自分の言葉で表現できる子
- ◎ たくましく
 - ・自然に親しみ、戸外で元気に遊ぶ子
 - ・運動に親しみ、進んで体を鍛える子（運動の習慣化）
 - ・自分の体に関心をもち、自己管理ができる子ども

◇めざす教師像 ・教師としての指導力を磨く ・子どもの学ぶ力を磨く

【授業のプロとして、知・徳・体のバランスのとれた力（生きる力）の育成に励む姿】

【学校の組織の一員として、自分の役割を果たそうとする姿】

- 〈使命感〉 教育使命感をもち、情熱を傾ける教師
- 〈倫理観〉 良識と高い倫理観をもち、子どものよさや可能性を引き出す教師
- 〈専門性〉 教育の専門家として常に自己研鑽に努める教師
- 〈共感性〉 共感的理解と受動的態度で子どもに寄り添い自己実現を支援する教師
- 〈連帯感〉 教育目標の達成に向けて、コミュニケーションをとり連携する教師

◇めざす家庭・地域像(学校運営協議会との連携)

- 子どもたちの安らぐことのできる温かい家庭
- 基本的な生活習慣、規範意識、思いやりを培う家庭
- 学校・地域に積極的に関わる家庭
- 校区の自然や文化、歴史、人を大切にする地域
- 子ども主体の体験活動など豊かな地域活動を展開する地域

学校経営基本方針

すべては、よりよい子どもをつくるため

(1) 協働意識と組織力（連帯感）を高める。

- ① それぞれの個性や持ち味を生かし、学校教育目標、重点目標の達成に向けて、**ベクトルを同じにして実践する。（共通理解・協働実践）**
- ② 報告・連絡・相談（ホウレンソウ）を密にし、意思統一を図る。
（保護者・地域からの情報は、管理職まで速やかに届くように）
- ③ 互いが、磨き合う、高め合う関係づくりを実現する。
（批判ではなく、改善点を議論する。）
- ④ 「和める職員室」：**愚痴や自慢が言える。** インフォーマルなコミュニケーションを大切にする。（互いに助け合える教職員）

(2) 教師力を高める

教育のプロであれ、人間としても尊敬される人であれ

- ① できる子、できない子の序列をつけるのが仕事ではない。
できる子：よさをさらにのばす。
あることが苦手な子：つまずきを見つけ、解決方法を支援する。
- ② 教師（大人）の後ろ姿で子どもは育つ。
 - 率先垂範する。師弟同業
 - 子どもを公平に。（教師の人権感覚）
 - 教壇に立っているという意識。（**服装・身だしなみ**）
- ③ 日々の**授業で勝負（生徒指導が機能する授業を）**
人は見られて美しくなる。授業は見られてうまくなる。（互見授業）
 - 子どもが授業で納得できる。分かる楽しさ。克服できた喜び。
 - 4月に学級の実態把握をし、3月までの育成ビジョンを立てる。
（一日一日の積み重ねで、児童（学級）は育っていく。）

(3) 業務改善

- 会議、打合せ時間の効率化を図る。
（**会議資料を事前に準備・SSAの活用等**）
- 事務の効率化を図り、勤務時間の適正化を図る。
（業務時間記録表の活用“月初め第1週中に提出”）
NO 残業デーの実施（水曜日等）
目標設定（終了時刻等）し、業務にあたる。（効率的に）

(4) 教職員としての自覚・責任

- 教育公務員としての**サービス（勤務時刻等）・態度**
- 誠意をもって
相手を大切に**する姿勢**
（目を見て話す。目を見てあいさつする。・・・大人にも子どもにも）
- けじめ 提出物
- 時間励行・・・定刻前集合 定刻開始
- 授業の開始と終了・・・定刻開始（終わりが大切）

【綱紀保持に努める】

決して信用失墜行為・教職員としてふさわしくない行動はしない。

【時を守り、場を清め、礼を正す！】

(5) その他

日々の授業における3つのポイント

- ☆ 子どもたちの**学習意欲**を喚起するための手だてが工夫されているか。
 - ☆ 子どもたちが**自ら考え、判断し、表現**する場面が設定されているか。
 - ☆ 子どもたちが学習したことを**振り返る**場面が設定されているか。
- (【学力向上に向けた授業改善のために】平成24年度7月山口県教育委員会 より)

心のないところで温かい人は育たない。
自分にゆとりがないと、人には優しくできない。
自分だけで、豊かな人を育てることはできない。

・・・みんなの心が通う温かい職場から、温もりのある教育を・・・

普通の教師は、知識を教える
少しい教師は、心を教える
素晴らしい教師は、子どもの心に灯をつける

感動とつながりのある一日一日の積み重ね

自分で考え、行動する右田っ子の育成
～感動とつながりのある活動を通して～

